

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位
交通情報論ゼミ		コンピュータを通して、交通を理解する		小宮 全	2年次通年	4
科目区分	専門	キーワード	データ解析、交通と情報、プログラミング			
ディプロマポリシーとの対応		3. 誠実な姿勢で、課題を発見し解決できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前を受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	本講義の目的は2つある。1つ目は、情報と交通に関する研究を通して、世界で自分だけが知っている事実を手に入れること、2つ目は、その事実を手に入れる（作り出す）ための労力がどの程度か経験する事によって、身を持って知る事である。					
到達目標	論文を書き上げることである。ただし、自分だけが知っていることが書かれている事が必須条件である。自分だけが知っている事実は、どんなに小さな事でも良いし、自分だけが知っている期間が短期間でも良い。					
講義内容	本講義と並行して、情報科学概論・プログラミング入門を受講し、コンピュータやプログラミングに関する基礎的な知識を身につけること。交通と情報に関する論文を読み、論文の読み込みから自分のテーマを決定し、実験と執筆を進める。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	ガイダンス	ゼミの進め方・研究計画書・論文執筆について理解する。			
	第2講	論文とレポートの違い（1）	自由研究論文を題材に、論文とレポートの違いを理解する。研究計画書と論文アウトラインの違いを理解する。			
	第3講	論文とレポートの違い（2）	自由研究論文を研究計画書・論文アウトラインに落とし込む。			
	第4講	論文とレポートの違い（3）	出版されている論文を論文アウトラインに落とし込む。			
	第5講	データの分析（1）	インターネット上で入手することが出来るデータを知る。			
	第6講	データの分析（2）	入手したデータを分析する。			
	第7講	データの分析（3）	出版されている論文のデータを再現する。			
	第8講	データの分析（4）	出版されている論文のデータを再現する。			
	第9講	論文の検索方法（1）	学術論文の種類（原著、研究ノート、総説等）を理解する。			
	第10講	論文の検索方法（2）	特定のテーマに対して実際に検索し、網羅性を確認する。			
	第11講	論文の読み方	自分で見つけた論文を論文アウトラインに落とし込む。			
	第12講	研究テーマの見つけ方（1）	興味ある事柄（テーマ）を決め、教科書等で調べる。			
	第13講	研究テーマの見つけ方（2）	テーマに対して、先行研究を検索する。			
	第14講	研究計画書の執筆指導(1)	研究計画書の作成方法を理解する。			
第15講	研究計画書の執筆指導(2)	研究計画書の仮提出をする。				

	第16講	研究計画書の執筆指導(3)	研究計画書を完成させる。
	第17講	研究の個別指導(1)	研究計画の第1段階を実行する。
	第18講	研究の個別指導(2)	研究計画の第2段階を実行する。
	第19講	研究の個別指導(3)	研究計画の第3段階を実行する。
	第20講	研究の個別指導(4)	研究計画の第4段階を実行する。
	第21講	研究の個別指導(5)	研究計画の第5段階を実行する。アウトラインの執筆をする。
	第22講	卒業論文アウトライン作成指導(1)	ここまでの研究結果を論文にするためにアウトラインを作成する。アウトラインの仮提出をする。
	第23講	追加研究指導(1)	アウトラインを作成することによって、研究の不足部分を明らかにし、追加研究を実施する。
	第24講	追加研究指導(2)	追加研究を実施する。
	第25講	追加研究指導(3)	追加研究を実施し、それらを組み込んだアウトラインを作成する。
	第26講	卒業論文アウトライン作成指導(2)	アウトラインの本提出をする(アウトラインをゼミ内で共有する)。
	第27講	卒業論文執筆(1)	アウトラインに沿って、論文を執筆する。
	第28講	卒業論文執筆(2)	論文仮提出をする(本提出論文をゼミ内で共有する)。
	第29講	卒業論文執筆(3)	仮提出論文の修正をする。
	第30講	卒業論文執筆(4)	論文本提出をする(本提出論文をゼミ内で共有する)。
指導方法	前期は、レポートと論文の違いについて理解し、論文を執筆するための準備を行う。後期は研究の設計方法や、実験方法、執筆方法を個別に指導する。		
事前学習	毎回出される課題とは別に、事前に準備すべきことを指示する。それらが学習済みであることを前提に授業を進める。学習時間の目安は1時間程度である。		
事後学習	毎回出される課題を確実に実施すること。課題が完成していることを前提に授業をすすめる。学習時間の目安は2時間程度である。		
成績評価方法	第16講で研究計画書を提出する。研究計画書ができていない場合は、後期の授業に進むことはできない。第26講でアウトラインの提出をする。アウトラインの提出ができない場合は、論文仮提出・本提出は受理しない。本提出後も訂正が必要になる場合もある。卒業論文 50%、平常点(報告・議論・授業内外課題) 50%		
テキスト	必要なテキストを授業内で指定する		
参考書籍	必要なテキストを授業内で紹介する		
特記事項	ゼミ生は、前期の情報科学概論を受講すること。		